








平成29年11月議会 教育厚生委員会追加資料

否 決 分

教育長	教育総務 部 長	学校教育 部 長	施設課長	主 幹	管理係長	企画係長
						

会議体名称	平成23年度 第1回 長崎市立小中学校適正配置検討会議
日 時	平成23年8月19日(金) 16:00~17:00
場 所	本館3階 第2応接室
出席者	(会長) 三藤副市長、(副会長) 古賀副市長 (委員) 馬場教育長、溝田総務部長、前川福祉部長、 田中子ども部長、本田土木部長、御所建築部長、 小田総合企画室長(企画財政部長代理)、 佐藤都市計画課長(都市計画部長代理)
事務局	橋田教育総務部長、松本学校教育部長、 田中施設課長、浦瀬主幹、施設課松尾企画係長、 松本学校教育課長、森健康教育課長、 生涯学習課石丸総務係長(生涯学習課長代理)
議 題	Dブロック 佐古小・仁田小統合計画(案)について
会議の趣旨	Dブロックの適正配置実施計画の中で、佐古小と仁田小を統合し、 新小学校を設置することに関し、2つの案(第1案…佐古小に新設校 を設置する案、第2案…仁田小に新設校を設置する案)を提示し、 市としては第1案をもって地元との協議に臨んでいくことについて、 庁内関係部局への周知及び意見等を伺った。

○主な内容

- ・ ことども部関係では、保育所と放課後児童クラブの件が関係している。要望があった仁田小の放課後児童クラブについては、アンケートにより児童約40人と保育所児童約40人の希望結果があった。仁田小校内への設置について現在検討中である。また、近くに緑が丘保育所もあり、仁田保育所との関係を整理する必要があると考えている。(田中子ども部長)
- ・ 平成14年頃、仁田小校舎とグラウンドとの間の市道を拡幅してほしいとの要望があったが、地権者の反対でストップしたことがある。バスを通してほしいという声もあった。敷地の使い勝手から言えば佐古小の方だろう。(本田土木部長)
- ・ 佐古小に新設校を設置する方がいい。仁田小跡地は、道路拡幅のための移転交渉の代替地や公共用地としても使える。(御所建築部長)
- ・ 統合新設校を新築するのか、改築するのかなど、地元と協議するうえでは一定の目的が必要なのではないか。例えば、仁田小の耐震補強は、H25~26の計画であるが地元から耐震化工事を要望される可能性もある。二重投資にならないように一定整理しておく必要があるだろう。(溝田総務部長)
- ・ 佐古小に設置するとすれば、星取町からの1年生にとっては負担が大きい。バス利用や通学路の安全について考える必要があるのではないか。(小田総合企画室長)
- ・ 統廃合を進めるにあたっては、学校区域の変更も視野に入れて検討していく必要があると考えている。(教育長)
- ・ 学校は地域コミュニティの核である。地元は学校環境や生活環境を良くしてほしいと考えている。通学環境は今以上に良くしていかないといけない。地元とは、まちづくりの視点で話していく必要がある。(佐藤都市計画課長)

- ・佐古小を全面改築するのか、一部既存校舎について、大規模改造を施工し活用していくのかは、構造的な耐用年数などを考え、費用対効果を見据えた中で検討をしていただきたい。(御所建築部長)
- ・新築か改築か、道路の問題等、タイミングがある。また、仁田小ではだめなのかという反対意見も想定して対応を考えておく必要がある。(三藤副市長)

○結果

- ・今後、地元へは、2つの案を提示したうえで、市としては第1案(佐古小に統合新設校を設置する)をもって地元との協議に臨むことで委員の了解を得た。

《今後の検討課題》

- ・統合校が、仁田小に建設できない理由の整理。
- ・バス通学の検討(現状4キロ以上の縛りあり)。